

式 舌辛

日ごとにあたたかくなってきた、この春の良き日に、
本校に入学された新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
皆さんの入学を教職員一同大変楽しみに待っていました。

これからの三年間で、心も体も大きく成長してほしいと思います。
小学校を卒業し、青年となる第一歩を踏み出す皆さん。

十三歳からのティーンエイジの時期は、思春期とも青春時代とも
いわれます。この時期の瑞々しい感性で得る経験は、何物にも代え
がたい素晴らしいもので、きっと皆さんのこれからの人生の中にい
つまでも大切な輝きを放つものになるでしょう。

この時期に、どうかたくさんものものに興味を持ってください。

教科書や授業からだけではなく、興味を持つ多くのことから様々
なことを学んでください。

また、小説や漫画や雑誌などの読書や映画や音楽などの感情を揺
さぶる芸術表現に触れて、感受性を豊かにして行ってください。

色々な人と話をして、自分と異なる考え方に触れて、視野を広げ
て行ってください。

そして、自分自身の「夢」を育てて行ってください。

「夢」は、いつか見つかるものではありません。

みなさん自身が興味を持ったことや好きなこと、挑戦したいこと
や気になること等、皆さんにかかわる様々なことをより深めていく

事で、目的や目標が表れて小さな夢が生まれます。少しずつ歩き始める道の先に、やがて大きな夢が現れると思います。

「夢」を持つことで、意欲も自信も生まれ、何より日々が充実します。

ぜひ、日頃からやりたいことを意識して、自分から進んで「やってみよう」という意識で何事にも取り組んでください。

皆さんに、「夢」について語られた渋谷栄一さんの言葉

「夢七訓」を紹介します。

夢なき者は理想なし。

理想なき者は信念なし。

信念なき者は計画なし。

計画なき者は実行なし。

実行なき者は成果なし。

成果なき者は幸福なし。

ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず。

「夢」を持つことで、「理想」や「信念」が生まれます。

「理想」や「信念」を形にするために、「計画」し「実行」します。

そこに「成果」が生まれ「幸福」が訪れます。

好奇心旺盛に日々を過ごすことが、充実した中学校生活につながり、皆さんの中に気が付けば「夢」が育まれることを願っています。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。

本日入学した生徒たちの 義務教育最後の三年間を担うという大きな責務を持ち、自分の道を、切り開いて歩いていくための基盤を、一人一人の子どもたちが身につけることができるよう、教職員一丸となって、頑張っていく所存です。

最後になりましたが、本日ご臨席賜りました千早赤阪村長南本様教育長栗山様をはじめ、ご来賓の皆さま方、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚くお礼申しあげます。

今後とも本村立中学校への変わらぬご支援をお願い申しあげます。以上をもちまして 学校長式辞といたします。

令和五年 四月六日

千早赤阪村立中学校長 近藤 和浩